



放水体験のようす



救助体験のようす

2月25日(土) わくわくドキドキ消防体験 ファイヤーフェスティバル

第19回ファイヤーフェスティバルが東部消防組合本部構内で開催されました。幼少期から防災意識を高めることを目的とした当イベントには、東部消防管内の3町(西原町、与那原町、南風原町)の幼稚園児・小学生の親子が参加しました。

救助、はしご車、濃煙、放水活動、消火器など普段は味わえない体験に子どもたちは目を輝かせていました。



3月5日(日) 西原町マラソン大会

第3回西原町マラソン大会が、西原町民陸上競技場で3年ぶりに開催され、2kmと5kmの部に、合わせて112名が参加しました。晴天のもと、はしゃぎながら走る子どもたちや、自己ベストを狙って真剣に走る人など、それぞれのペースでマラソンを楽しみました。中には手を繋いでゴールする親子や子どもを抱っこしてゴールする親子の姿がありました。

競技終了後にはお楽しみ抽選会が開かれ、当選者にはJA西原支店からのお菓子や西原町でサッカーキャンプをしたJリーグチーム(ヴィッセル神戸・川崎フロンターレ・大宮アルディージャ)からユニフォームなどのチームグッズが贈られました。

また参加者には沖縄ヤクルト株式会社から寄贈されたヤクルトの配布もありました。

2Km / 男子	2Km / 女子	5Km / 男子	5Km / 女子
1位 新垣 希虎	1位 西原 品子	1位 松本 暁義	1位 天願 弥生
2位 東江 駆	2位 浜比嘉 愛和	2位 伊藤 史憲	2位 前田 京美
3位 西原 聖人	3位 長嶺 憩	3位 WATCHORN ALAN	

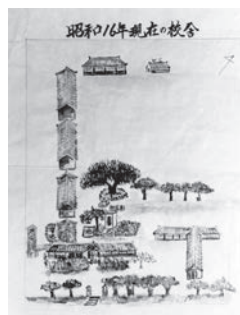


文化財

西原の学校のはじまり

四月になりました。各学校では、入学式や始業式が行われ、新しい学校生活が始まります。さて、西原で初めてできた学校ってどこでしょうか。

西原で初めて学校の開校については記録が出てくるのは、明治十五(一八八二)年です。現在の西原の塔周辺にあった、当時の西原間切の番所(今でいう役場)内の一部を使って、「西原小学校」が設立されました。この時の児童数は多い時で四四人でした。児童は吏員(公務員)や裕福な家の子供で、年齢は十二歳から二十歳まで在籍していた記録が残っています。服装は着物で、給食はなく、イモを芭蕉の葉に包んで持っていくというのです。明治二二(一八八八)年に、「西原尋常小学校」と改称し、児童数は増えていきます。しかし、明治の頃は弟や妹の子守のために学校を休まされたり、馬の草刈りやイモ洗いなど勉強よりも家の仕事が優先させられる家庭も多かったようです。その後、学校の校舎新築・移転を行い、住民の教育への意識も向上していきました。昭和一六(一九四一)年には、「西原国民学校」(字翁



昭和16年の西原国民学校の校舎配置図
提供：西原小学校

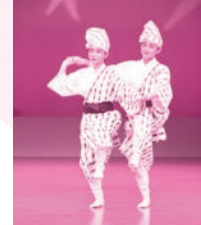
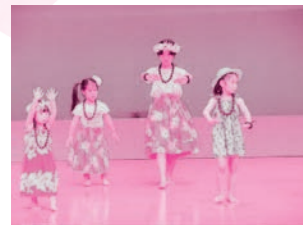
お問い合わせ 文化課 文化財係 ☎944-4998
(復刻版)



昭和30~40年代前半の西原小学校授業参観風景
提供：西原小学校

わったー まちの話題

提供：西原町文化協会写真部会



2月13日(月) リサイクルヤード着工！



西原町リサイクルヤードの建設に向けて、小那覇工業団地内の移転先で地鎮祭が行われました。崎原盛秀町長ならびに関係者が出席し、工事の安全と無事を祈願しました。同施設は資源ごみの回収・分別作業を行う施設で、今年の10月運用開始を予定しています。

崎原町長は「新たに建設するリサイクルヤードの施設環境の充実により、ゴミの減量化と循環型社会の形成に寄与することを期待しています。10月の運用開始を目指し、安全な施工をお願いします」と述べました。

2月13日(月) 西原中学校合唱部 音楽コンテストでグランプリ！



西原中学校合唱部が町役場を訪れ、第16回沖縄ヴォーカルアンサンブルコンテストにおいてグランプリと全国大会派遣決定、第68回全琉音楽祭において大賞を受賞したことを報告しました。同部は合唱としては小人数の11人構成ですが部員一人丸となって合唱の質を高めてきました。

部長の池間有彩さん、副部長の佐藤花恋さん、翁長優百さんが「仲間と切磋琢磨して全国大会でも頑張るので応援よろしくお願いします！」と声を合わせて全国大会への決意を表明しました。全国大会でもチバリヨー！



イベント
フォトギャラリー

2月11日(土)・12日(日) 西原町子ども文化祭

「継承・創造・飛躍」をテーマに第3回子ども文化祭がさわふじ未来ホールで2日間にわたり開催されました。展示部門では書道、絵画が町民広場にずらっと並び、舞台部門では地域の伝統芸能や琉球舞踊、エイサー、空手、しまくとぅばなどが披露されました。子どもたちの日頃の努力が彩り豊かな作品や舞台をつくり、訪れた人の心を魅了しました。

2月9日(木) 空手で健康に！県健康づくり 表彰で準グランプリ！



西原町上原にある沖縄剛柔流拳志会空道古武道総本部が沖縄県健康づくり表彰地域活動部門において準グランプリを受賞し、外間哲弘館長と門下生が崎

原盛秀町長に受賞報告しました。

同総本部は地域の健康増進のため、空手道・古武道を取り入れた健康づくりの普及に取り組んでおり、自治会公民館などで空手や棒体操などの講座を実施してきました。

外間館長は「弟子達や多くの方の協力が受賞につながり最高の思いです。これからも地域の健康増進のために励みます」と笑顔で話しました。

2月10日(金) キリ学 理科の支援授業 1,000 回目！



沖縄キリスト教学院短期大学と西原町の連携で同大学の教授が町内4小学校の理科の授業をサポートする「理科教育支援事業」が1,000回の節目を迎えました。本取組は生徒たちの理科への興味関心を高めることや小学校教員の指導力向上をサポートすることを目的に2009年から取り組んでいます。

この日は、内間清晴教授が西原小学校5年生へ「電流が生み出す電磁石の力」についての授業を行いました。コイルに電気を流すと電磁石になる仕組みや世界一の磁力といわれるネオジム磁石で重たい物を持ち上げる様子を実演して見せました。

内間教授は「子どもたちに『楽しい』と思われるような授業づくりを大切に頑張ってきた。これからも実験を通して子どもたちに理科の面白さを伝えていきたい」と笑顔で話しました。